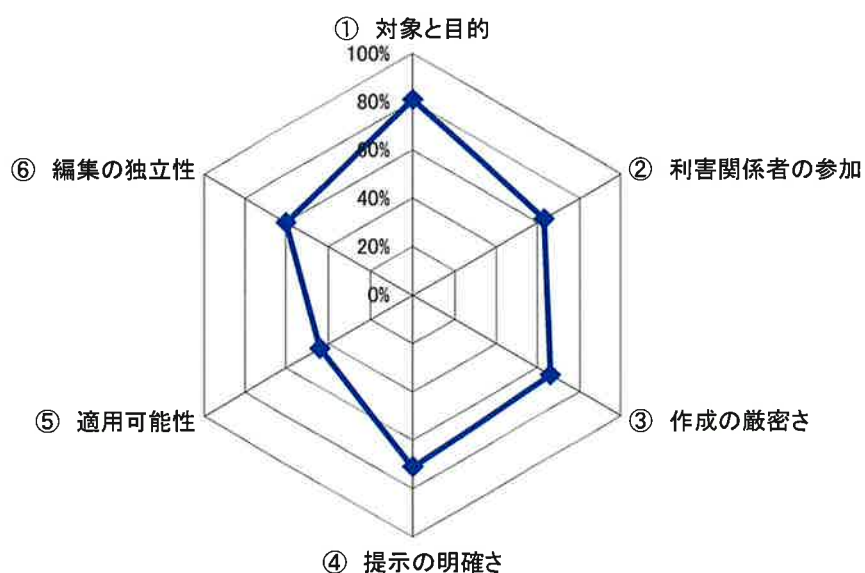


『高齢者のがん薬物療法ガイドライン』
 (日本腫瘍学会, 日本癌治療学会
 「高齢者のがん薬物療法ガイドライン」作成部会)
 評価結果レポート

1. 領域別評価と全体評価結果

領域	領域別標準化スコア
① 対象と目的	81%
② 利害関係者の参加	63%
③ 作成の厳密さ	66%
④ 提示の明確さ	71%
⑤ 適用可能性	44%
⑥ 編集の独立性	60%
⑦ 全体評価	67%



2. 主な領域別改善ポイント

①利害関係者の参加

この領域では、診療ガイドラインが適切な利害関係者によって作成されているか、想定される適用対象者の視点を考慮して作成されているかに焦点を当てて評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの適用対象者となる集団（患者等）の視点や希望に関する情報をどのように集めたか。またその内容をどのようにガイドラインに反映したか。

②作成の厳密さ

この領域では、診療ガイドラインの作成方法の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの作成のためのエビデンス検索方法。
- 検索したエビデンスの中から、エビデンスを採用・除外した基準。
- 採用した個々のエビデンスのバイアスをどのように評価し、エビデンスを統合した際にどのように解釈したか。
- 推奨と推奨作成に用いたエビデンスとの関連性。
- 本ガイドラインの公開に先立って実施した外部評価の方法および結果。またその結果をどのようにガイドラインに反映したか。

③提示の明確さ

この領域では、診療ガイドラインで推奨する内容が明確に提示されているかどうか評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 対象患者の状態や臨床的課題に応じた様々な選択肢。

④適用可能性

この領域では、診療ガイドラインの利用を促すための戦略や資源に関する情報の記載について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインの活用を促進する要因および阻害する要因。
- 本ガイドラインが効果的に活用されるために提供している追加的な資料やツール。
- 本ガイドラインの推奨の適用にあたって考慮すべき資源（医療費）。
- 本ガイドラインの推奨の適用にあたって考慮すべきモニタリング・監査のための基準。

⑤編集の独立性

この領域では、診療ガイドライン作成のための資金源や利益相反の開示について評価しています。より良い診療ガイドラインの要件として、以下の諸点について詳細かつ明瞭な記載が求められます。

- 本ガイドラインを作成するための資金提供者の情報および資金提供者の意向や利益が内容に影響していないか。
- 本ガイドラインの作成に関わった人の利益相反の開示および利益相反があった場合の対応。

3. 総評

AGREEIIの領域の中では、対象と目的の記載について評価が高かったガイドラインです。推奨を作成するプロセスが詳細に記載された診療ガイドラインと見受けられます。診療ガイドラインとして透明性を高めるためには、文献の検索方法と選択基準、エビデンスの評価を詳細かつ明瞭に記載することが求められます。詳細資料については、誰もが閲覧できるよう付録として巻末に添付するか Web で公開するとよいでしょう。次回の改訂に向けて御検討下さい。